

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# ITを活用した直行直帰の実現！



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

「うちの主にインターネットの配線工事をやっているんだ。作業員には毎朝、現場に赴く前に事務所に出勤してもらい、朝礼で当日の現場や業務指示を行ってから、それぞれの現場に出発してもらっているんだ。だけど、先日、従業員から要望があったね。」

「確認している」

「どのような要望だったのですか。」

②

「それがね。事務所に行くのは手間だし、作業後は疲れているのに事務所に帰るのは余計に疲れるから、直行直帰したいという要望があったんだ。とは言っても、現場には一人で行かせているから、直行直帰だと当日の業務指示もできないし、管理が難しいと思うんだ。」

「把握もできない」

「労働時間の削減もできない」

「直行直帰だからといって、管理が難しいとは限りませんよ。」

③

「例えば、クラウド型のモバイル端末を導入し、その端末で従業員への作業指示や図面提示、出退勤の管理を行ってみるのはいかがでしょうか。直行直帰による不安もクリアできます！」

「クラウドがよ」

「労働時間の削減にもつながります」

「直行直帰にする」

④

「現場作業者に施工管理ツールがインストールされたタブレットを支給し、直行直帰で現場に向かえるようにしたところ、従業員からの評判も良く、業務効率も大幅に向上しました。ペーパーレス化、経費の節約にもつながっています。」

「業務効率は大幅向上！」

「労働時間は大幅削減！」

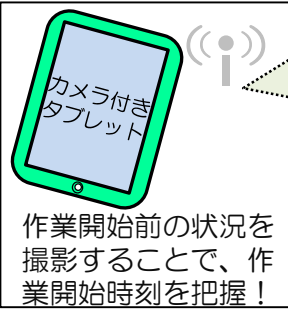
## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：電気設備工事業 従業員数：22名

インターネットの配線工事は短時間で終わることが多いため、1日に何件も個人宅などの現場を回ることがある。そのため、当日の人員配置や業務指示を行う必要があり、全員を事務所に出勤させ、朝礼で指示を行っていた。従業員からは直行直帰にしてほしいという要望があったが、労働者一人で現場を回ることが多く、労働時間管理上の問題から直行直帰を認めないでいた。

- ＜現場作業員向けの施工管理業務にITツールの活用＞
- クラウド型の施工管理システムを導入する※。
  - 現場作業員全員にタブレット端末を配付する。
  - 労働時間管理については、施工管理システム及びタブレットに備わっているカメラを活用する。



【施工管理システム導入費用を助成！】  
○時間外労働等改善助成金  
(時間外労働上限設定コース)  
助成率最大 80%  
上限額最大 200万円  
◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・当初は直行直帰による労働時間管理に不安を抱く従業員もいたが、クラウド型タブレットのおかげで、直行直帰でも適切に労働時間管理が行えることから、従業員の不安も解消された。
- ・直行直帰ができるようになったことで、作業を終えてから事務所に戻る手間がなくなり、従業員の疲弊が軽減された。また、労働時間が削減されたため、36協定の上限を引き下げた※。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# 人事評価もRPAにお任せ



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 半期に1回、部下の人事評価を行っているのですが、考えなきゃいけないことが想像以上に多くて、全く進んでいないんです。

私自身の仕事もあるのに

人を評価することは非常に難しいですよ。

② そうなんです。評価項目は各人の売上はもちろんですが、勤怠、貢献度など多岐に渡っているんです。それらをひとつひとつ、突き合わせてランク付けを行うのですが、悩ましい。

それらをひとまとまりにすると効率的になりそうですね。

本当はみんなにA評価をつけたいけど

③ AIを活用し、業務を効率化・自動化するRPA◇をご存知ですか。RPAを活用することで、勤怠や売上などの様々なデータをあっという間に一つにまとめることが可能となります。評価者は一つのグラフを見るだけで最終的な評価が行えるようになるので、評価者の負担が減るのではないのでしょうか。

導入には、助成金も活用しましょう

そんなことができるの？

④ RPAを導入したところ、RPAは様々な評価項目をそれぞれのシステムから抽出し、見やすいグラフにまとめることまで自動でやってくれることから、適切に、そしてスムーズに部下の人事評価を行えるようになりました。

RPAにより、人事評価も簡単に！精神的ストレスからも解放！

客観的に評価される！

◇：「Robotic Process Automation」の略。設定した処理内容（シナリオ）に従って定型業務を自動処理し、業務生産性を高める仕組みのこと。

## 取組事例紹介

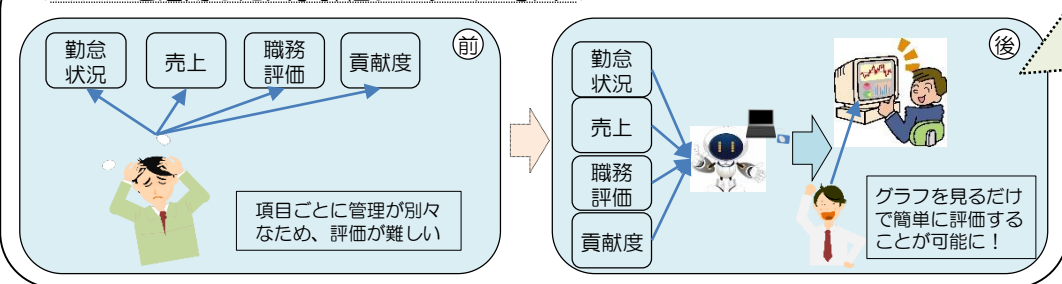
※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：80名

従業員の評価を行う際、その従業員の勤怠状況・売上・職務評価及び貢献度など様々な評価項目があり、また、それぞれが別の記録や帳簿で管理されていた。評価者はそれぞれの記録を突き合わせて各人の評価を行う必要があり、評価者の業務負担となっていた。

### <RPAを活用した人事評価システムの導入>



【人事評価システム導入費用を助成】

- 時間外労働等改善助成金（時間外労働上限設定コース）
- 助成率上限 80%
- 助成額上限 200万円

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・RPAは様々な評価項目をひとつのグラフに分かりやすくまとめてくれることから、評価者はそのグラフを見るだけで、従業員の評価が行えるようになった。
- その結果、評価者（管理監督者ではない）の労働時間が削減されたことにより、36協定の上限を引き下げた※。
- ・RPAで作成したグラフは機械的に抽出されたものであることから、基準が明確になり、適正な評価につながった。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# モバイルプリンターにより現場で即印刷



～時短・生産性を向上させる工夫～

**①** うちの住宅のガスなどの住宅設備機器の販売や点検等を行っているんだけど、設備の定期点検を担当している従業員の長時間労働が慢性的だなぁ。  
設備点検では特にどのようなことが大変なのですか。

**②** 担当者は点検が終わったら、お客様に2枚複写の「定期点検調査票」を書いて渡すんだけど、手書きだから、記入漏れや文字が読みにくいことが多いんだ。作成した調査票は事務所に持ち帰って、システムに登録しないといけないから、結果的に長時間労働になってしまっているなぁ。  
記入漏れがあると、もう一度渡さないといけないし。

**③** 労働時間削減のためには手書きの書類を減らすことが重要です。最近では、十分な性能をもった超小型モバイルプリンタも販売されており、そのプリンタとタブレット端末を組み合わせることで、業務の大幅な効率化も可能です。  
事務所に戻らず、直帰も可能です。

**④** モバイルプリンタとタブレット端末を導入したところ、今まで発生していた記入漏れやミスもなくなり、また、タブレットの入力内容もシステムに自動反映されるため、従業員の長時間労働も解消されました。  
高品質プリントにより、お客様の信頼性向上も実現。  
小さなプリンタなので、かさばらない。

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★★」に該当

業種：電気設備工事業 従業員数：80名

顧客宅を訪問し、住宅設備の点検後に定期点検調査票を作成するが、調査票は2枚複写の用紙で、それに手書きで記入することから、記入漏れやミスが多く発生していた。また、作成した調査票の内容を改めて、システムに入力する必要があり、従業員が長時間労働になっていた。

### <点検システムと連携したタブレット端末の導入※>

- クラウド型の基幹システムを構築し、出先でもタブレット端末から、システムにアクセスできるようにした。
- 超小型のモバイルプリンタを導入し、タブレットへの入力情報（チェックボックス等）をそのままモバイルプリンタから印刷ができるようにした。



最新のモバイルプリンタは重さ700グラム程度の超小型なものもあるんです！

【基幹システム導入費用を助成！】

○時間外労働等改善助成金（時間外労働上限設定コース）

助成率最大 80% 上限額最大 200万円

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・システム及びプリンタ導入の結果、調査票をすぐに印刷が可能となるとともに、事務所に戻ってからのシステムへの入力作業がなくなった。その結果、労働時間が削減され、36協定の上限を引き下げた\*。
- ・印刷された調査票は従来の手書きによる記入漏れや書き直しもないことから、顧客に対しても円滑に交付できるため、顧客満足度が向上した。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# No More メール誤送信！



～セキュリティ対策のすすめ～

先日、従業員が本来送るべき取引先とは別の取引先に間違っメールを送ってしまった。添付ファイルに個人情報が入っていたから、大問題に発展したよ。

それは大変でしたね。添付ファイルにはパスワードの設定をしてなかったのですか。

① 大目玉を食らったよ

恥ずかしながら、ファイルにパスワードをしてなかったようで、誤って送った取引先に中身をみられてしまったんだ。普段からパスワードを設定するように指導はしているんだけど、その時に限って忘れてしまったようだ。

② 取引先からの信用も失ってしまった

多くの情報漏洩事件は「メール誤送信」が原因です。誤送信をしてしまうと、取引先の信用を失うばかりか、その後処理で大変な労力を伴います。場合によっては、損害賠償を請求されてしまいます。そのリスクを減らすために、メール誤送信対策機器を導入しましょう。

③ 信頼回復のためにも対策をしよう！

手軽にやり取りができるメールこそ対策しましょう

メール誤送信をなくすために、対策機器を導入したところ、添付ファイルのパスワード設定も自動的にやってくれたり、送信先誤りがあっても、確認チェックが行われることで、従来発生していた誤送信がなくなりました。おかげで、取引先からの信頼も向上し、売上につながっています。

④ メール送信時の精神的ストレスも減りました！

セキュリティ対策は顧客からの信頼性向上につながった

## 取組事例紹介

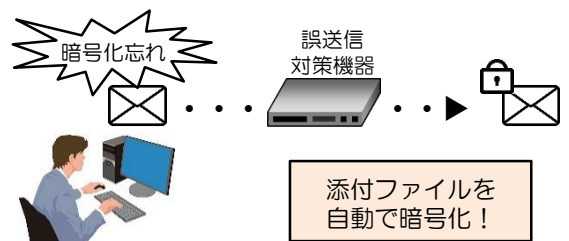
※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「設備投資★★」に該当

業種：情報通信業 従業員数：40名

メール誤送信の事例として①個人情報が含まれた添付ファイルを暗号化せずに間違えた宛先に送ってしまった②ファイルの添付忘れ③上司や部下をCCへ入れ忘れなどがあり、誤送信が発生した際は、その後処理に長時間労働が発生することもあったことから、誤送信をなくすための対策を行いたい。

### <メール誤送信対策機器の導入※>

- 暗号化されていないファイルが添付されている場合は自動的に暗号化。
- メール本文に特定のキーワード（マイナンバー等）がある場合は自動的にフィルタリング。
- 送信メールは誤送信対策機器に一旦保留させることも可能なため、送信直後に確認することで、削除も可能。



- ・誤送信を防ぐためのセキュリティ対策はメール取扱者の精神的安心感につながり、従業員のストレス減少につながった。
- ・セキュリティ対策を行っていることをアピールすることで、取引先からの信頼性向上につながった。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

### IT教育にポリテクセンター活用のすすめ



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 先日参加したセミナーで働き方改革ではRPAを導入することが不可欠と説明されていたけど、RPAっていったい何なのかしら。

て...最新技術に疎く

RPAとは、定型業務を自動処理し、業務生産性を高めるIT技術のことです。最近注目されています。

② うちにも受発注業務や経理業務などがあるのだけど、もしかして、そういったものもRPAで自動化できるのかしら。

でも、RPAなんてよく分からないし、うちの会社で扱える人はいるのかしら。

可能性は十分にありますね。

③ それでしたら、一度、ポリテクセンターの「生産性向上支援訓練」を受けてみてはどうでしょうか。ポリテクセンターでは、ITに関する基礎的な研修から、実務者レベルの上級者向け研修まで様々な研修が受けられます。

もちろん、RPAに関する研修内容も充実しています

一度、みんなまで受けてみようかしら

④ 一度、ポリテクセンターに相談したところ、担当の方から、自社の課題にマッチしたRPAの研修を提案していただきました。社内研修の一環として、私も含め、全員で受講したところ、RPAへの理解も深まりましたので、導入を進めていきたいと思います。

RPA導入には、ITリテラシー向上が不可欠！

◇：職業能力開発促進センターのこと。職業に必要な技能と知識を習得できる訓練が国等の支援により受けられる仕組み。ポリテクセンターは愛称。

### 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★=★★★★」に該当

業種：小売業 従業員数：40名

RPA等のIT技術を習得し、労務管理やビジネスに活用したい。  
しかし、社長含め、従業員全員のITスキルが不足していることから、まずは研修を受けたいと考えていた。



＜ポリテクセンターのIT支援訓練の受講＞  
ポリテクセンターを利用し、ITリテラシーに関する座学や演習を受けることで従業員のITリテラシーが向上！

- 【ITリテラシーの生産性向上支援訓練の一例】
- RPAによる業務の自動化
  - 無駄を発見するための業務とデータの流れる見える化
  - 社内ネットワーク管理に役立つLANの基礎
  - 社内ネットワークの情報セキュリティ対策 etc...
  - ◆ 受講には受講料が必要です。  
すでに終了している訓練もある可能性があります。

- 【職業訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成】
- 人材開発支援助成金  
(特定訓練コース(事業外訓練))  
賃金助成 380~960円/時間 経費助成 最大 60%
  - (一般訓練コース(事業外訓練))  
賃金助成 380~480円/時間 経費助成 最大 45%
  - ◆ 助成金には生産性要件等、一定の要件があります。

- ・ 訓練を実施したことで、従業員のITリテラシーが向上するとともに、RPAなどのIT設備(システム)の導入\*が進んだ。
- ・ IT化が進んだ結果、従業員の業務負担が減少し、労働時間が削減され、36協定の上限を引き下げた\*。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、  
「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# 在宅勤務におけるプライバシー保護 ★★★

～ワーク・ライフ・バランス推進の工夫～

テレワークを導入し、在宅勤務を推奨しているのですが、従業員が積極的に利用してくれないんです。

利用されない理由はどういったものでしょうか。

① **みんな利用すると思っていたのに**

テレワーク中の報告や会議の際には、お互いの顔を合わせながら行うことが良いと思っていますので、Webカメラを採用しているんです。ですが、従業員は家の中などのプライベートな空間を見られるのが嫌みたいで・・・。

② **声だけっていうのも寂しいですよ**

最新のWebカメラでは、AIによる人物検出を活用した背景ぼかし機能も備わった製品もありますよ。背景ぼかし機能を利用して、個人のプライバシーの保護と不要な情報の映り込みを遮断してみたいかがでしょうか。

③ **それはいいですね**

**背景ぼかしは情報漏洩の防止にもつながります**

Webカメラにぼかし機能があるものを導入したところ、従業員からも評判で、テレワークの利用率も向上しました。

④ **WEB会議前の部屋の片づけが必要**

**テレワーク利用推進により、従業員満足度も向上！**

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「テレワーク導入★★+設備投資★★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：130名

テレワークを導入したいが、Web会議時における自宅や出先でのプライベート空間の確保やプライバシー保護の観点から導入が思うように進んでいなかった。

### <Web会議用の背景ぼかし機能付きのカメラを活用したテレワークの導入※>

- AI人物検出機能  
⇒Web映像から参加している人物の輪郭を自動的に判断する。
- AR（拡張現実）背景ぼかし機能  
⇒特定した人物以外の背景にリアルタイムで「ぼかし」を適用する。

【テレワーク導入のための設備導入※費用に助成！】  
○時間外労働等改善助成金（テレワークコース）  
助成率 最大 75%  
上限額 最大 150万円  
◆助成金には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。



- ・背景ぼかし機能付きのWebカメラにより、テレワークに消極的だった従業員も率先してテレワークを利用するようになった。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

# 報告書フォーマットの統一を



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

従業員定着のために残業時間を減らしたいけど、なかなか減らないなあ。

長時間労働の要因を探り、削減できることを考えてみましょう。

うーむ

②

各種の報告書や契約書の作成が長時間残業の大きな要因になっているようだ。時間がかかりすぎているかもしれないなあ。

報告書のフォーマットや使われているソフトは統一されていますか。

③

フォーマットや書き方などは統一できていないな。顧客ごとに管理している情報が違うから、フォーマットの統一は難しいよ。

ソフトについても、顧客ごとに使い分けの必要がある。

それでは各種報告書等のフォーマットをテンプレートとして管理できるシステムを導入してみてもどうでしょうか。顧客ごとに作成する内容が違って取り込むこともできますし、ファイル出力も可能です。

テンプレートから作成しますので、時間短縮です。

④

テンプレート管理システムを導入し、各種報告書や契約書のフォーマットを統一したところ、報告書や契約書作成時間が短縮され、残業時間も減りました。また、システムから従来からの顧客向けの書式に出力もできるので、顧客とのトラブルもありません。

フォーマットが統一されたことで、決裁者の負担も減りました。

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：51名

長時間労働の要因を探ったところ、各種報告書の作成のために長時間の時間外労働が行われている実態が認められたため、その削減に向けて、全社的に業務改善策の検討に取り組んだ。

<テンプレート管理システムの導入※>

- 社内で使う文書は当該システムを利用し、作成させるようにすることで、文書作成業務負担軽減を図る。
- 従来から使用していた文書や顧客から提示される文書も当該システムに取り込ませることで、情報管理の一元化を図る。



- ・各種報告書の作成業務に要する時間が短縮されるとともに、社内の決裁者の負担も減ったことから、残業時間が減少し、36協定の上限を引き下げた※。
- ・労働者のワークライフバランスが確保され、離職率の低下につながった。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

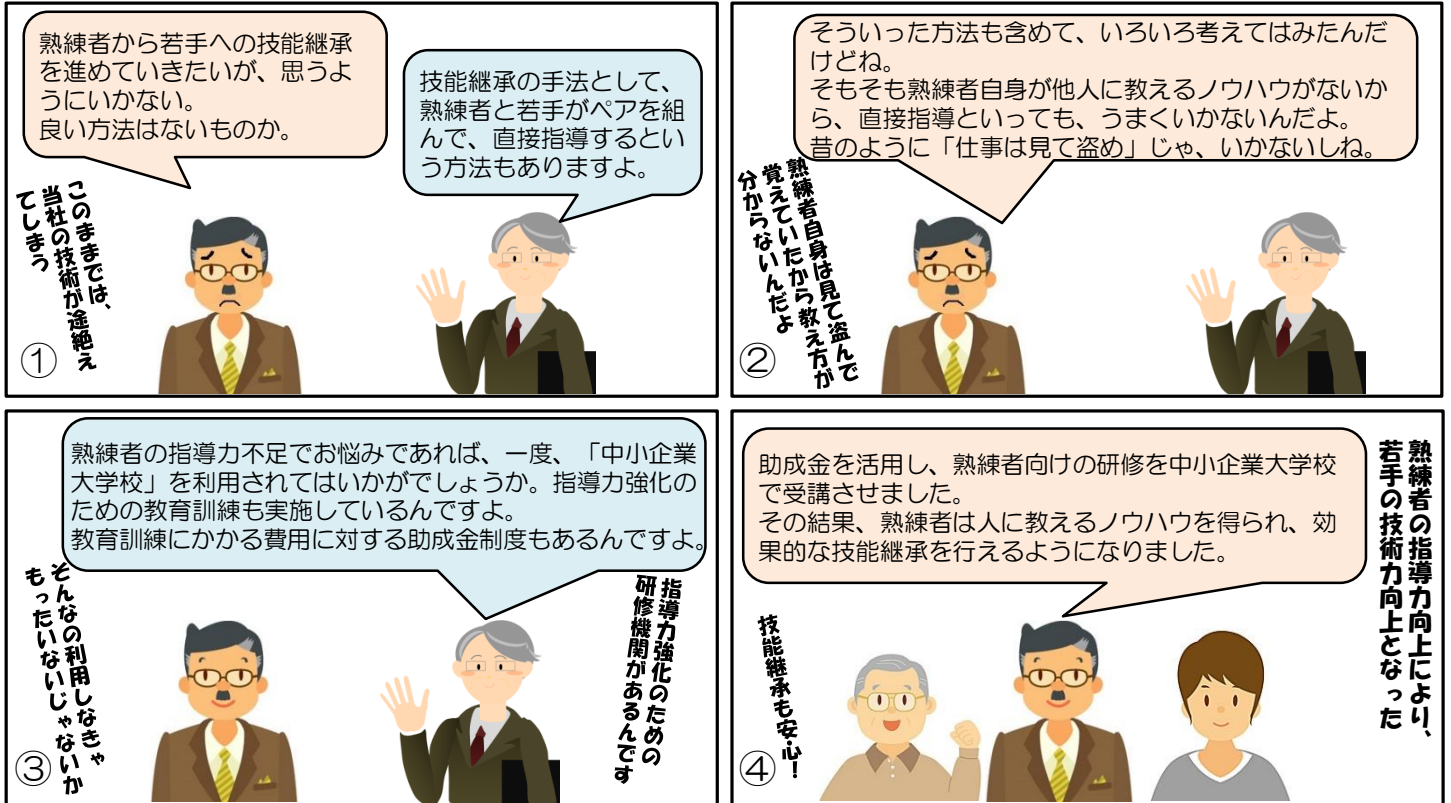
■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1 ☎0120-868604  
 ✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内） ☎0800-200-5262  
 ✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

# 中小企業大学校による指導力強化訓練



～技能継承を円滑に行うための工夫～



**①** 熟練者から若手への技能継承を進めていきたいが、思うようにいかない。良い方法はないものか。

このままでは、  
当社の技術が途絶えてしまふ

技能継承の手法として、  
熟練者と若手がペアを組んで、  
直接指導するという方法もありますよ。

**②** そういった方法も含めて、いろいろ考えてはみたんだけどね。  
そもそも熟練者自身が他人に教えるノウハウがないから、  
直接指導といっても、うまくいかないんだよ。  
昔のように「仕事は見て盗め」じゃ、いかないしね。

熟練者自身は見て盗んで覚えていたから教える方が  
分らないんだよ

**③** 熟練者の指導力不足でお悩みであれば、一度、「中小企業大学校」を利用されてはいかがでしょう。指導力強化のための教育訓練も実施しているんですよ。教育訓練にかかる費用に対する助成金制度もあるんですよ。

そんなの利用しなきゃ  
もったいないじゃないか

指導力強化のための  
研修機関があるんですよ

**④** 助成金を活用し、熟練者向けの研修を中小企業大学校で受講させました。  
その結果、熟練者は人に教えるノウハウを得られ、効果的な技能継承を行えるようになりました。

技能継承も安心！

熟練者の指導力向上により、  
若手の技術力向上となった

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「36協定上限引下げ★」に該当

業種：製造業 従業員数：43名

熟練者から若手への技能継承を進めていきたいが、熟練者には技術はあっても、人に教えるノウハウ等がなかったことから、熟練者の指導力強化を図りたい。

＜熟練者に対する指導力強化研修の実施＞  
○外部機関（中小企業大学校等）を利用し、雇用している熟練者に対して、技能者育成のための指導力を強化する訓練の実施。



座学や実践により、体系的に指導力の向上を図る！！

【職業訓練経費等の一部を助成】  
○人材開発支援助成金  
(特定訓練コース(事業外訓練))  
賃金助成 380～960円/時間  
経費助成 最大 60%  
◆助成金には生産性要件等、一定の要件があります。

- ・訓練を実施したことで、熟練者の指導力が向上し、若手に対し、より効果的な訓練を行えるようになった。
- ・効率的な訓練にもつながり、技能継承に要していた労働時間が削減され、36協定の上限を引き下げた※。
- ・熟練者の指導力向上は、若手への技能継承のみならず、若手との円滑なコミュニケーションにもなり、熟練者と若手との信頼関係構築にもつながった。

**御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！**

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com



# ベッドからの離床業務負担を軽減



～時短・生産性を向上させる工夫～

①

介護業務は身体的負担が大きく、それが離職理由になることもあるんです。

実際、介護業務は重労働ですからね。

②

重労働作業の一つは、要介護者をベッドから抱き起して車いすに乗せる、いわゆる離床作業なんです。腰への負担も非常に大きく、腰痛にもつながってしまいます。

介護労働者の作業負担を減らさなければなりませんね。

いつも2人がかりで行わせていますが、足りない...人手が足りない...

③

ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器も登場しています。これを導入すれば、労働者の負担軽減にもつながりますし、人手不足解消に役立つのではないのでしょうか。

それはいいですね

いわゆるアシストスーツ

④

装着型移乗介助機器を導入した結果、介護労働者の身体的負担が軽減し、従業員の定着促進につながった。また、腰痛災害も減りました。

介護の重労働のイメージも変わり、人材確保にもつながった

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：介護業 従業員数：22名

要介護者をベッドから抱き起こして車いすに乗せる作業（離床作業）は、介護労働者の身体的負担が大きく、腰痛等のリスクが高いたく、長時間労働の要因ともなっていたため、介護労働者の身体的負担の軽減に取り組んだ。

装着型移乗介助機器の導入※により介護職員の身体的負担軽減！

【装着型移乗介助機器】  
ベッド、車いす、便器の間の移乗に用いることができ、介助者の腰の負担軽減を行うことができる。



アシストスーツによりパワーアップ！

【機器導入費用の一部を助成】

- 人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース）
- ・介護福祉機器の導入費用に対する助成金 → 支給対象費用の25%（上限150万円）
- ・離職率の低下目標を達成に対する助成金 → 支給対象費用の20%（35%）（上限150万円）

注：◇ は生産性要件を満たす場合の助成額  
◆ 助成金には一定の要件があります。

- ・介助者の離床業務をアシストする装着型移乗介助機器を導入したことで労働環境が改善され、介護労働者の身体的負担が軽減し、就業意欲の向上にもつながり離職率が低下した。
- ・求人をする際に、職場環境の良さを積極的にPRすることができるようになった。
- ・介護職員の負担が減ったことで、残業時間が短縮し、36協定の上限を引き下げた※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com

人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

# AIチャットボットで社内QAの自動化 ★★★★★

～時短・生産性を向上させる工夫～

①

会社で労務部門を担当していますが、毎日のように従業員から問い合わせがあって対応に苦労しています。他にもやらないといけないことがあるのに・・・。

どのような問い合わせが多いのですか。

問い合わせには  
対応しないといけ  
ないし

②

年次有給休暇等の休暇制度に関することや、従業員の扶養追加や削除等の手続きに関することが多いと思います。現場にも就業規則や手続きマニュアルが置いてあるはずなんですが、ちゃんと読んでくれないんです。

マニュアルがあっても、それを読まない方も多いですよ。

みんな同じような  
質問ばかり

③

各種問い合わせに対し、メッセージアプリなどで自動で回答する仕組みの「AIチャットボット」をご存知でしょうか。AIチャットボット導入により、今まで人の手で進めていた問い合わせへの回答も自動化され、労務部門の負担軽減が狙えるのではないのでしょうか。

それは試してみたい！

負担軽減、他の仕事を  
行いましょう！

④

AIチャットボットを会社に導入してもらったところ、従来発生していたメール・電話問い合わせ対応が自動化され、労務部門の負担軽減になりました。問い合わせ記録も自動で作成されるため、その内容を精査することでよりよい制度作りを計画しています。

残業削減にも成功

AIチャットボットで負担軽減！

◇：チャットボットは「チャット」と「ロボット」を組み合わせた略称であり、ロボットを活用した自動会話プログラムのこと。チャットボットに学習機能や判断機能などのAIを付与したものを総称してAIチャットボットと呼ぶ。

## 取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」  
「36協定上限引下げ★+設備投資★★★★」に該当

業種：製造業 従業員数：120名

年次有給休暇等の各種休暇制度、社会保険の扶養追加（削除）手続き、福利厚生利用手続きなど、会社内には様々な手続きがあり、その利用手続きについて、従業員から様々な問い合わせがあり、その担当部署は対応に苦労していた。また、その制度を利用したい従業員にとっても、担当部署が忙しそうにしていることから、聞きづらい状況であった。

### <AIチャットボットを活用した問い合わせ自動支援システムの導入※>

前

年次有給休暇の〇〇について教えて

すぐに回答ができなければ折り返すことも、記録も作成しなければならぬ。

担当者の負担

後

質問内容を入力してください！

年次有給休暇の〇〇について教えて。

〇〇については、××××があります。

チャットボット

担当者の負担軽減！

【システム導入費用を助成】  
○時間外労働等改善助成金  
(時間外労働上限設定コース)  
助成率上限 80%  
助成額上限 200万円

◆助成金等には成果目標の達成状況等、一定の要件があります。

- ・ AIチャットボットにより、従来発生していた担当従業員の問い合わせ対応等の業務がなくなった。その結果、担当部署の労働時間が削減され、36協定の上限を引き下げた※。
- ・ 従業員からの問い合わせ内容は自動的に集計されており、その問い合わせ内容や傾向を分析することで、労務管理上の問題点を洗い出すことができた。

## 御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部: 名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所: 豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com